

令和 7 年 10 月 27 日

東員町議総務建設委員会

委員長伊藤治様

東員町議会 議員 大谷勝治

研修報告書

研修期間	<u>令和 7 年 10 月 15 日 (水)</u>
研修（視察）先	滋賀県米原市
目的（テーマ等）	デマンド交通、まいちゃん号導入に向けての経緯と現状について
参加議員名 (複数の場合)	6 名
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、内容、所感

令和7年10月15日（水）米原市役所（10：00から）

米原市は、全国で唯一、2か所のホタル発生地が特別天然記念物に指定されているホタルのまちです。この恵まれた自然環境を保全し後世に引き継ぐため、平成19年に米原市蛍保護条例を制定し、ホタルの保護に取り組んでいます。

ホタルの観賞を通じてホタルの保護や環境保全意識の高揚、環境教育の充実を図るとともに、地域の活性化と観光振興に資するため、さまざまなイベントが開催されます。

毎年6月初旬から中旬にかけて「天の川ほたるまつり」が開催され、多くの観賞客で賑わいます。（天野川は水質が良く水草が生育するため、この地のホタルは発育が良好で全長2cmの大型になることが特徴です。米原市では、ホタルの命は1週間から10日ほどと言われており、自然の神秘の光を鑑賞することができます）

本日の研修テーマ

デマンド交通、まいちゃん号 導入に向けての経緯と現状について

導入の経緯

背景課題

米原市は中山間地域と平坦地域が混在し、地形的に起伏が多く、公共交通の維持が困難。

少子高齢化が進み、高齢者の運転免許返納に伴う移動手段の確保が急務。

市町村合併により、従来の路線バス網の見直しが必要となった。

導入時期と方式

平成16年10月、米原町時代に、まいちゃん号 運行開始。

完全予約制の乗合タクシー方式で、一般タクシー車両を使用。

予約があった場合のみ運行する「デマンド型交通」としてスタート。

制度支援

滋賀県から、米原市のデマンド方式料金改正（令和4年月）

（1）米原市の『まいちゃん号』はデマンド方式の完全予約制の乗り合いタクシーで、一般のタクシー車両を使用しているが、路線バス同様あらかじめ定められた停留所や運行時刻に合わせて、予約があった時にだけ走る事前予約制の小型バス。そのため、同じ便に複数人から予約があったときは乗り合わせとなる。また、予約のあった停留所間のみを最短距離で運行する。

（2）使用する車両は小型タクシーで、1台で全員が乗れない場合は同区間に複数台配備する。

（3）運行時間は6時台～19時台で年中無休

（4）利用料金は、おとな500円／こども250円（地域内。市内の地域間移動の場合はMax2,000円）

乗車回数券11枚つづり5,000円も発行（こどもは半額）

（5）利用者登録は不要だが、出発時刻の1時間前までに予約が必要。朝9時までの便については前日夜9時までに予約が必要。

（6）『まいちゃん号』予約は専用ダイヤル。

（7）事業運営体制は、米原市がタクシー会社（近江タクシー）と運行に関する契約を結び、タクシーがまいちゃん号として運行された際のメーター料金から、利用者負担分を除いた運行欠損額を市が補填している。

（毎月申請・実績報告）

予約の受付、配車、運行など事業運営はタクシー会社が実施する。

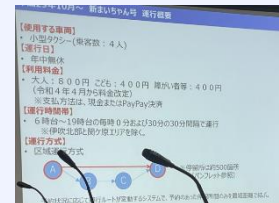
(8)停留所は各自治体から3~4か所選定してもらい、米原市内約500か所になる。

(9)一般タクシー連携利用が可能。市外連携停留所まで行けば、そのまままいちゃん号を利用し、市外に出ることができる。利用料金は市外連携停留所から通常のタクシー利用料金となる。

(10)路線バスも市内で6路線運行。デマンドを唯一導入していない伊吹地域は路線バスを走らせている。

コミュニティバス運行対策費補助金や合併支援特例交付金を活用。**米原市まいちゃん号の令和4年度の料金は、以下の通りです：**

- ・ 大人(市内通勤者含む): 800円 → 500円
- ・ 高齢者(満70歳以上): 800円 → 300円
- ・ 中学生・高校生(市内通学者含む): 800円 → 300円
- ・ 妊婦等: 800円 → 300円
- ・ 子ども: 400円 → 250円
- ・ 障がい者等: 400円 → 150円



これらの料金は、令和4年4月1日から改定されたものです【1】【2】【4】。

現在の運行状況（2025年時点）

- ・ 運行形態：
 - ・ 毎時0分と30分に運行（6時～19時台）、年中無休。
 - ・ 予約は出発時刻の30分前まで（早朝便は前日夜9時まで）。
- ・ 停留所数：
 - ・ 市内に約500か所。地域ごとに自治体を選定。
- ・ 料金体系：
 - ・ 地域内移動：大人500円、こども250円。
 - ・ 地域間移動：最大2,000円。
 - ・ 市民等割引パスポート制度あり。
- ・ 利用実績（令和4年度）：
 - ・ 利用件数：30,302件（延べ43,833人）。
 - ・ 高齢者（70歳以上）が43%を占める。
- ・ 運営体制：
 - ・ 米原市が近江タクシーと契約し、運行欠損額を市が補填。
 - ・ 予約受付・配車・運行はタクシー会社が実施。
- ・ 最近の改善点：
 - ・ 停留所の新設・廃止を継続的に実施。
 - ・ 予約締切時間の短縮（2025年7月より）。

（質問）利用者についての質問をしました。

（答え）タクシー型のまいちゃん号はバスに乗れない年代75歳から85歳の女性の足となって又ご主人を無くされた方も送迎が困難になり利用者が多くなってきている（CSE）医療費の削減も含めて出歩くことによる老後の豊かさを求めている。

2025 年問題と運転士不足の構造

1. 高齢化と退職の集中

団塊世代の大量退職により、運転士の供給が急減。

特に地方部では、鉄道・バス・タクシー運転士の高齢化率が高く、若手の採用が追いつかない

まいちゃん号 のような地域密着型交通では、運転士確保が制度の持続性に直結。
免許取得支援制度の導入提案。

地域内での人材育成ルートの構築（例：シルバー人材・女性ドライバー育成）。

自動運転・AI 配車の導入可能性調査。

以上

令和 7 年 10 月 27 日

東員町議会総務建設常任委員会

委員長伊藤治雄様

東員町議会 大谷勝治議員

研修報告書

研修期間	<u>令和 7 年 9 月 27 日 (金)</u>
研修（視察）先	石川県小松市
目的（テーマ等）	小松市ライドシェア「iーchan
参加議員名 (複数の場合)	6 名
資料添付の有無	有 ・ 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

研修概要、
石川県小松市ライドシェア「i-Chan」について

石川県小松市では、自治体主導のライドシェアサービス「i-Chan（あいちゃん）」が運行されています。これは全国でも先進的な取り組みで、公共交通の空白時間帯や地域課題に対応するために設計されています。

「17:00～24:00」の運用

1. 交通空白時間帯への対応

- ・従来の公共交通（バス・鉄道・タクシー）は、夜間になると本数が減るか、運行が終了する。
- ・特に地方都市では、夜間の移動手段がほぼない状況が多く、飲食業・観光業・夜勤者・若者の移動に支障が出ていた。
- ・この時間帯にライドシェアを導入することで、制度的に「交通空白時間帯」への対応が可能になった。

2. 2023 年 12 月の制度改正との連動

- ・自家用有償旅客運送制度の改正により、「交通空白時間帯」も制度対象に含まれるようになった。

・

- ・小松市はこの改正を受けて、全国に先駆けて夜間ライドシェアを制度的に実装した。

3. 観光・経済活動との親和性

- ・北陸新幹線「小松駅」開業により、夜間の観光・飲食需要が増加。
- ・ライドシェアが夜間に対応することで、観光客の移動手段確保と地元経済の活性化に貢献。

4. 避難者支援との両立

- ・能登地震の二次避難者に対して、夜間の移動支援を無料で提供。
- ・福祉・災害対応と経済活動を両立する運行時間設定は、制度設計としても先進的。

委員会・制度評価への応用

この運行時間は、制度評価の観点から以下のような評価軸に展開できます：

- ・制度改正の即応性：改正後どれだけ早く制度を活用したか
- ・交通空白時間帯の定義と実効性：実際に空白を埋めているか
- ・対象者の公平性：市民・観光客・避難者をどう区分しているか
- ・地域経済との連動性：観光・飲食業との連携度

小松市ライドシェア「i-Chan」の概要

- ・運行日：毎週木・金・土曜日（今後、毎日運行を目指す）
- ・運行時間：17 時～24 時（予約は 23 時 30 分まで）
- ・運行エリア：小松市内全域発着のいずれかが小松市内であれば、能美市・加賀市も対象

対象者

- ・ 能登半島地震の二次避難者（無料）
- ・ 小松市民・観光客（有料）

運賃

- ・ 初乗り 1km まで 400 円、以降 300m ごとに 100 円
- ・ 支払いは PayPay・クレジットカードなど

予約方法

アプリ「パプテク」または電話（050-3493-0068、16 時～24 時

制度的背景と目的

- ・ 自家用有償旅客運送制度を活用し、自治体や地元事業者が連携して運営。
- ・ 2023 年 12 月の規制緩和により、交通空白時間帯（夜間など）も対象に。
- ・ 北陸新幹線「小松駅」開業に伴う観光需要や、地震避難者の移動支援が導入の契機

共創体制

- ・ 小松タクシー株式会社が運行管理
- ・ 地元飲食業組合、観光協会、アプリ開発企業などが連携
- ・ 地域経済活性化と公共交通再編を目指す。

以上